



参加大学生の意見

グループ①の意見

- ◆ セヴァン・スズキのスピーチは、今の人が聞いても考えさせられるものであった。
- ◆ 自分たちの環境問題への無知さを知った。
- ◆ 意見交換を経て、今後の活動は他大学との連携や、自分たちの活動分野に関係する地元企業との連携をしていくという選択肢が見つかった。
- ◆ SDGsという言葉は近年たくさん耳にするが、開発と環境保護が乱立している。
- ◆ 「環境アセスメント」をしっかりとすることで、開発による環境への影響を調査することが重要だと思った。
- ◆ 環境問題と一口に言っても問題は多岐にわたっているので、「Think globally, Act locally」の考え方は重要だと考えた。広い視点を持ちつつ、できることから行動していきたい。

グループ②の意見

- ◆ サンショウウオの話を経験に、今後の保全活動をどのように行っていくべきかをグループ内で話し合った。
- ◆ 絶滅危惧種の周知方法については、他大学との連携や学園祭を通じた周知などを行いたいと思う。
- ◆ セヴァン・スズキのスピーチを聞いて、大切な生き物を人の手で絶滅させてしまうことはあってはならないことだし、身の回りの生き物を大切にすることが、持続可能な社会へとつながっていくと感じた。

まとめミーティング

まとめミーティングでは参加者全体で、交流ミーティングで話し合われたことの共有と全国の環境学生団体がどのように今後活動していくべきかの意見交換を行いました。



グループ①のまとめ

無関心層にアプローチするのは困難だが、「環境活動に関心はあるけれど、何をしたらよいかわからない」という層にターゲットを絞り活動を実施したいと感じた。時間やパワーがある学生団体が様々な団体とつながり、お互いの足りない部分を補い合えればよいと感じた。

グループ②のまとめ

普段は同じ生活圏内の大学や社会人としか関わる機会がないが、今回のSDGsミーティングで北海道、関西、九州の環境活動を行う大学生と意見交換ができたことがとても良かった。他のメンバーにも、今日の学んだことをシェアしていきたい。また、同じテーマを持つ他大学と交流する機会はあまりないので、今後はもっと積極的にこういった場を作っていきたい。

全国大学生環境活動コンテスト = エココン (ecocon) の紹介

全国大学生環境活動コンテスト (エココン) とは…

大学生の環境活動の活性化を通じた持続可能な社会の実現を目指し、学生ネットワークの形成、座談会 (交流会) の実施、年に1度の全国大学生環境活動コンテスト (通称: ecocon) を行っています。

ecoconは2003年より毎年開催しており、第18回までにのべ700団体以上、総勢1万人以上が参加するなど、学生の環境活動の中での役割を確立しています。独立行政法人環境再生保全機構は、全国大学生環境活動コンテスト (ecocon) を共催しています。



環境活動やSDGs活動をしている大学生サークルのみなさん!
ぜひ一度、エココンの事務局に連絡してみてください。

全国ユース環境ネットワーク事務局と全国大学生環境活動コンテスト実行委員会は、
大学生サークルの環境活動やSDGs活動を応援しています。

連絡先

▶ エココンについて

全国大学生環境活動コンテスト (エココン) 実行委員会事務局
tel: 03-5402-5355 mail: support@ecocon.info (株式会社ダイナックス都市環境研究所内)

▶ 全国大学生環境活動団体SDGsミーティングや大学生の活動全般について

全国ユース環境ネットワーク事務局
tel: 044-520-9505 mail: youth@erca.go.jp (独立行政法人環境再生保全機構)

